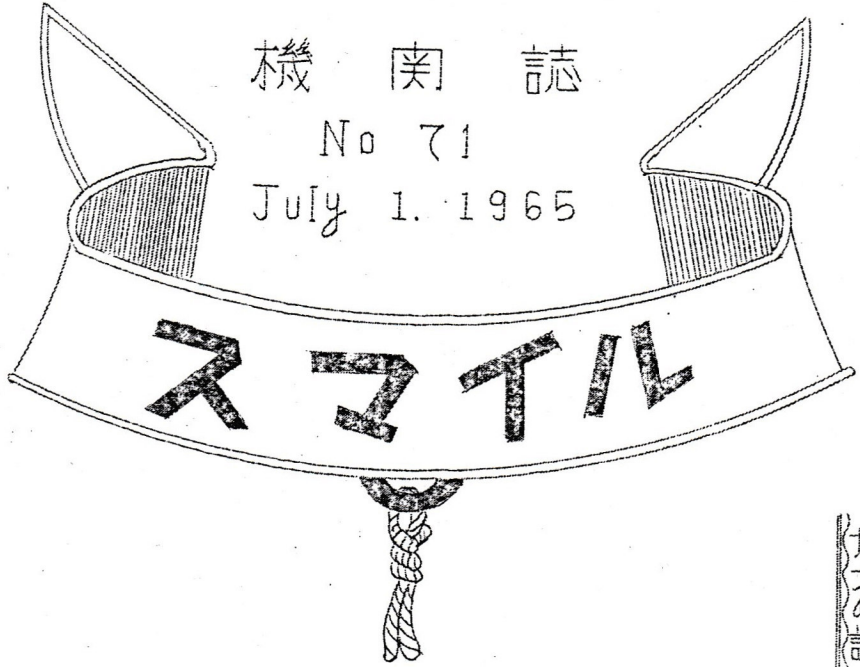


ボーイスカウト東京第4団

機関誌

No 71

July 1. 1965



カブの誌

ブレニーの服装

月の輪 周 鴻 採

ブレニーの帽子はまるできのこ
見たいだ。

帽子の色はあずき色。

スカートもあずき色。

どうしてあずき色なんだろう。

別にきまりもないのかな

シャツは白色、くつしたも白色。

一体どうしてこういう服が出来

たのだろう？、

カブのリーダーになつて

R.S 戸田 健次郎

私は二年前に、カブの隊付を一年間したことがありまし
た。隊付になつて、何をすればいいんだらうと不安になり
ました。でも杉原隊長やデン・マザーの人たちに色々
教えてもらつて、少しづつ分つて来た。一年間が立つてし
まいました。

それから色々は、二年前カブを離れました。そして
今年の四月、杉原隊長、デン・マザーやカブスカウトの
人に暖かく迎へられ、心からうれしく思い、カブのリーダ
ーの一年生として、ガンバツて行きたいと思ひます。



ローバスカウトの長めの B.O.P.P.の「おきて」の解説。

① スカウトの名誉とは信頼されることである。(日本で
は、スカウトは誠実である。——誠実だから信頼され、
信頼されるといふことを名誉とする。)ローバスカウトと
して君は人からどんなに多くのかき入れようとも、また、
人が見ていなくても誘惑にのらさず、いかにそれが小さく

ても不正直や暗い行為をしないよう自分が自分を教養す
るだらう。君はひとを、だてだプロミスにせむおない
だらう。ローバーの約束は、証文と同様信用でせむ。
② スカウトは、キングと彼の上司、両親、備王および、
めしたの人々に忠誠である。(日本ではスカウトは忠節
をつくす)よき市民として君はゲームをするしチーム
の一員であり、正直な会員のために尽すのである。君は
わが帝国の元首であるキングによって信頼され君の友人
や同輩に信頼されている。だと君がこれらの人々に愛
おと、このものとそれらの人々の態度が一致しない場合
でも君は常に最善を尽くすものと思われたい。それに加
えて君は自分自身に対してはまだ忠誠である。君はゲー
ムを遊ぶものにして、自分以外の男性——女性をも
失敬させることによつて君の自尊心を低下させようとは
しないだらう。

③ スカウトのデューティーとは、役立つことであり他の
人々を助けることである。(日本のは、スカウトは人の
力になる)ローバーとしての君の最高の目的は奉仕であ
る。君はいつはんどきでも、時間と努力を、もし必要
であれば生命そのものをも他の人々のために犠牲に供す
る用意がある人間だと他の君から信頼されるだらう。
「犠牲は奉仕の塩なり」

④ スカウトは、すべてのものの故であり、他のどのス
カウトとも兄弟であり、その者の属する社会の如何を問
わない。(日本のは、スカウトは友誼に厚い)ローバー
として君は、他の人々皆、君と共に絆しく柱天の父の子
であることを認める。彼等の意見や世襲的階級や教義や
國の違いがどうであらうとそれにとまらぬ。君は君の偏
見をかきと彼等の長所を見出す。彼等の悪い点を批判で

きると冠うのは愚か者である。もし君が他の国の人々に
対する愛を学びてして國體平和と親善にそれをもたらし
助けをするならばそれは地上での神の国である。一世界
中の者は皆兄弟である。」

⑤ スカウトは悉切である。(日本はスカウトは礼儀正し
い)昔のナイトのようにローバーである君は、いままでも
もなく婦女、老人、子供に対して礼儀正しく思いやりが
ある。けれども、それ以上に礼儀正しくあるべきことは
君と敵対する人々に対して礼儀である。いまでも平靜を
失う必要のない時は、正しい状態であり、その余裕のない
時は謙でもよくない状態にある。」

キヤンピング

閑 忠 志



キヤンプは野宿である。歴史が
文字に書かれる前、水の草とを造って移動する遊牧の人々
の時代から、キヤンプは始まる。見渡す限りの草原で、夜
の露をしのぐものもない星の下の野宿であったが、自今に
ちや羊の群を、野獸から護るために火を焚いた。キヤンプ
の始まりである。獲ものの肉を焼いて空腹をみたしたおと
は、火ののって歌をうたった。ある者は物語りをした。見
たこと聞いたこと、その日の感激を、不思議なでぎ、ミンは
どと。キヤンプの始まりである。

ネオンサインや自動車の灯に妨げられぬ夜は、あく
までも照く、星の光のみあくまで明るい。星を見つめてい

ると何か目に見えぬほどの糸につながれて、星たちは一辨
ずつ何かを形造っているように見えた。幾つかの星は果ま
って柄杓の形をしている。ある幾つかは羽をひろげた白鳥
だった。古い神話の登場人物がそこそこ、ここにもいる。
一面に銀の砂をまいたような所もある。ロマンティックな
如翅は果てることもなく、いつか星座というものができた。

時代が下って、人類が固着した生活をするように
なつたのも、娯楽家、木、リ、獣師、探検者、遊園を作る
人などは、人間をはなれた環境に入りこんで仕事を
するのでキヤンプをした。登山家もキヤンプをする。特に古ハ
文化を伝承したアメリカインディアンの生活は、われわれ
にキヤンプ技術の非常に多くのものを教えた。このように
振かえて見ると、機械的な近代文明のなかに乾燥しがち
な生活を抱くっている我々が、野宿であるキヤンプ生活に
魅力を感じることが出来るのは、人類としての御愁であるか
も知れない。

キヤンピングのもつ教育価値とは、当然、人間形成とい
う大きな教育への効果であることはいままでもない。ここ
では、人間の生活のための倫理と技術とが、最も素材な
まど楽しい形で素材となっているからである。教育哲学者
として、イロンピア大学を中心に民主主義社会の教育界に
大きな指針を与えた、ジョン・デューイは(実行によって
学ぶ)といつことをいっただ。キヤンピングがそれである。生
活によって生活を学ぶ。

生活の公理は、キヤンピングでは、神へ直結する大自然
の美しさと天ささを素直に嘆賞する心を台として学ばれる。
人間は自分たちを作り出した文化に逆にし、はられて、時
間と空間を縮め、騒音と目まぐるしい中でたえず緊張を緩け
ている。

団 委 員 会 報 告

六月十九日 望
六 日 窓

出席者 二十二名

一、各隊活動の報告

C・S

・六月十九日カブ隊十一周年記念式を行
なつた。

・七月二十一日〜二十四日八ヶ岳清里に
て夏合宿。

B・S

・八月二十三日〜二十七日、日光中禅寺
アゼガタキャンプ場で夏期キャンプ。
六月行はる予定だった一泊キャンプを
中止。

S・S

・毎週のプログラム作成を七月より隊付
が行なつた。

・七月十日〜十八日、ろ東北地方に夏
期キャンプを行なう予定だったが今のとこ
ろ未決定。

R・S

・六月十九日〜二十日湘原に一泊キャ
ンプ

・八月五日〜八日壘井沢にて合宿。
・六月十九日〜二十日 S・S キャン
プ地を視察(大沢・万石・戸田)

一、講習会報告

・五月末日立教大学で行なわれたキリス

一、奉仕活動

ト教関係者の講習会に四回分、佐藤、
大沢、古兵、関口、渡辺、戸田が参加。
・五月二十九日〜六月六日五十野、シ
ニアコースのギルウェルに参加。

・六月六日 長井明ヴァイオリン演奏会
奉仕。

・六月七日 おし歯予防デーに奉仕(国
立競技場)。

一、訪日スカウト接待の件

昨年関西地方のブリスケヤンスカウトが
渡米した際、おけだもてなしの返礼として
招かれて十七名訪日するもので七月四日
〜十一日まで東京に滞在する予定。

関西では G・S 一名、B・S 一名の民宿
を引受ける。G・S は田中団委員長を、

B・S は戸田青年隊委員長にお願ひする
予定。又七月六日四回主催でオリオンピッ
プフルで氷氷の会を行なう棟松頼をたっ
けた。当日の接待は R・S、昼食の準備
は塩崎団委員長が協力下さることにな
つた。

一、講習会参加費補助の件

・参加スカウトの交通費補助の限界、費
用面の年商計画と検討の予地がある。
仔細は田中団委員長、白神副団長に一

任する。

一、S・Sリーダーの件

・高橋隊長の経緯が困難ため後任をさがたい。

一、夏のキャンプの件

・宇田川田委員の協力で準備がすめられており夏期キャンプにまいる予定。

一、T・V・出演

・四国が中心になってメダカT.Vに七月第一工五日野営場前に出演。

一、合同キャンプブライヤー

・九月廿日 中・Sと合同で行なう。計画はR・S。

一、七月十六日 渡畑する柳少年隊々長にお餞列として海外派遣費より二万円をさし上げることに決定。



年長隊プログラム計画書 7月

Hiking



1週 (5日) 班の準備としての食料、道具の準備、ギャンプの計画。

2週 (10日) 同上

3週 (17日) 隊班の準備、提出、週末一つ一つ各班で研究。

4週 (24日) 班に統一の服装、提出、研究、先ず個人装備の研究。

5週 (31日) すべてCampへの総仕上げ、上の仕事。

※ 礼儀でりとんギ夫
いはけ余前だ隊
がのどごんり致
のすーまろだよ
もかダ今。てロ
け動いてマリし
まをりれやなカ爾
な隊はさしら穿
もが隊わかなし補
でもぼどしは少長
人守れま。れつ副
一又けにいけも
て。なとなな。
しいが、ええだ
ぞん覚ね思か様
れ百人はりた
さなうせと切来、
しはい。たをてう
かにとつし頭しよ
ず隊とまをで覚し
むいだし動こ自を
のよめて活こもろ
織ばないけてん
組れら動よし母マ